

[105/106] 史淵表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2235983>

出版情報 : 史淵. 105/106, 1971-08-20. 九州大学文学部
バージョン :
権利関係 :

彙報

杉本勲教授御退官

国史学第一講座担当の杉本勲教授が本年三月末をもって定年退官になられた。同教授は昭和四十一年四月、文学部附属九州文化史研究施設教授に着任され、同四十四年十月国史学第一講座の担任となり、九州文化史研究施設長を兼ねておられた。この間、四十五年度の九州史学会、西日本史学会の委員長として会務をとられた。同教授の略歴と主要著作目録を左にかかげる。

杉本勲教授略歴

- 明治四十年五月十六日 東京府豊多摩郡大久保町に生まる
 昭和三年三月 第七高等学校文化乙類卒業
 昭和七年三月 東京帝国大学文学部国史学科卒業
 昭和二十一年四月 東京大学文学部大学院入学
 昭和七年四月 宮内省図書寮嘱託
 昭和九年十二月 図書寮編修官補
 昭和十六年八月 図書寮編修官
 昭和二十四年二月 実践女子大学教授
 昭和二十五年四月 東洋大学文学部及び法政大学文学部講師
 昭和二十五年十月 日本大学文学部講師
 昭和三十一年十一月 日本大学文学部教授
 昭和三十八年十月 早稲田大学教育学部講師

昭和四十一年四月 九州大学文学部附属九州文化史研究施設教授

昭和四十二年四月 九州文化史研究施設長

昭和四十三年四月 福岡県立女子大学講師

昭和四十四年十月 九州大学文学部国史学第一講座担任

教授兼九州文化史研究施設長

昭和四十六年三月 九州大学定年退職

昭和四十六年四月 愛知県立大学教授

杉本勲教授主要著作目録

著書

日本科学史Ⅰ・Ⅱ 法政大学通信教育部刊 昭二十五

日本史―概説と問題点(共著) 朝倉書店刊 昭三十一

日本史通論(共著) 朝倉書店刊 昭三十四

伊藤圭介(人物叢書) 吉川弘文館 昭三十五

近世実学史の研究 吉川弘文館 昭三十七

日本科学史(体系日本史叢書) 山川出版社 昭四十二

論文

江戸初期における排耶蘇論の展開 歴史教育 昭七

鎖国の形成 歴史教育 昭十一

洋学 新講大日本史 昭十五

天動説より地動説へ 日本歴史 昭二十四

禁書令下の西洋文化 日本歴史 昭二十八

命理の天学 日本大学文学部研究年報 昭二十九

経験科学の勃興と民衆 日本社会史 昭三十

伊藤東涯の実学研究

研究彙報 昭三十三

伊藤圭介の実学の性格

日本大学人文科学 昭三十五

北関東農村史の研究

研究所研究紀要 昭三十七

近世物産学の創始について

石田・和田・菟・山 昭三十七

近世日本における中道思想の研究

中四先生頌寿記念 昭三十七

元祿期諸科学の成立

史学論文集 昭三十七

近世後半期の百科事典について

日本大学人文科学 昭三十八

筑前蘭学事始考

研究彙報 昭三十九

佐賀支藩の蘭学について

九州文化史研究所 昭四十二

大庭雪齋訳述考

紀要 昭四十三

洋学の伝来

蘭学資料研究会報告 昭四十三

佐賀藩蘭学史の研究

歴史教育 昭四十四

咸宜園と洋学

九州文化史研究所 紀要 昭四十五

◆昭和四十五年度後期講義題目

○国史学

【特殊講義】

近世実学思想史の研究（幕末期）

杉本教授

近代日中関係史

白井助教授

異国警固番役の研究

川添 "

【特研】

近世史の諸問題

杉本教授

【演習】

古代の九州

田村教授

日本書紀

" "

洋学史の研究

杉本 "

近代の対外関係

白井助教授

草野文書の研究

川添 "

武家政権と大宰府

" "

九州近世史の研究

藤野 "

幕末政治史関係資料の研究

山口助教授

近世史料講読

野口非常勤講師

○東洋史学

【講義】

五代史上の諸問題

日野教授

唐代税制

" "

【特殊講義】

中国中世の村落制

越智助教授

【特研】

宋代俵戸制を中心として

日野教授

【演習】

宋史貨志

日野教授

旧五代史食貨志

" "

北史講読

越智助教授

○西洋史学

【特殊講義】

フランス中世史
イギリス封建国家の成立

森 助教授
松垣非常勤講師

【演習】

- (A) Nolte, Ernst: Vierzig Jahre Theorien über den Faschismus. 小林教授
- (B) L' Encyclopédie (extraito par Jean Voliquin) 小林教授

卒論指導
近代化研究

カペー王朝史研究

修道院慣習研究

都市奴隸の研究

ローマ奴隸制度史研究

○考 古 学

【講義】

遺跡の研究

東洋考古学—アジア考古生態学—

原始文化の諸問題

【特研】

C 鏡山教授

【演習】

A 鏡山教授

日本考古遺文の研究(金石文)

岡崎 助教授

【実習】

鏡山教授・岡崎助教授

◇昭和四十五年度秋季

西日本史学・九州史学会大会

しばらく開催できなかった西日本史学会・九州史学会共催の学術大会は、福岡大学の絶大な御協力の下記のように催された。久方ぶりの大会であったので活気にあふれ無事終了することが出来た。

一、会 場 福岡大学

二、日 程

○第一日 十二月六日(土)

特別発表

昼 食 会

委員協議会

特別発表

総 会

○第二日 十二月七日(日)

部 会

三、特別発表題目

(1) 五代の金融業者

(2) 幣原外交について

(3) サン・サヴァン・シュル・ガル
タンブ修道院教会堂の学術調査

(4) 大宰府の発掘調査について

日野 關三郎

臼井 勝美

森 井 洋

藤井 功

四、部会発表題目

(1) 日本史部会

(i) 第一会場(古代・中世)

「耶馬台国」の所在地について

奈良時代の寺院制度について

平安時代の竈門大山寺

鎌倉末期、九州に於ける相論について

中世後期の在地構造

元寇(蒙古襲来)の研究の問題点

(ii) 第二会場(近世・近代)

近世初頭の豊後国農村と綿作

安永・天明期薩藩々政改革

水天宮所蔵の真木和泉守書翰について

三池炭鉱官業払い下げ価格について

日米交渉史の一断面―流れた

近衛・ルーズベルト会談を中心に―

東洋史部会

北魏の三部

唐代における茶法について

蔡京通商法以後の東南塩法について

北宋末期の「方臘の乱」について

元代司吏への途徑について

明初における鄉村統治の論理構造

中国における地方志の書誌的簡報

唐代・五代の戸部の性格について

(3) 西洋史部会

一―世紀に於ける exemptio 特権の

形成について

《MENSUS》考―領主裁判権研究序説―

デラウエア邦植民地の成立過程

マリア・テレジア改革について

―その歴史的全体像の素描―

最高軍司令官としての大統領

考古学部会

鹿兒島県別府原板石積石室墳について

太宰府町成屋形古代住居地の調査

北部九州における群集墳の問題

岸 ちづ子

志 垣 嘉 夫

社 河 内 一 郎

丹 後 杏 二

福 本 保 信

上 村 俊 雄

龜 井 明 徳

西 谷 正

野 口 喜 久 雄

黒 田 安 雄

山 口 宗 之

上 妻 幸 英

坂 本 夏 雄

松 永 雅 生

西 岡 弘 晃

幸 徹

中 村 健 寿

牧 野 修 二

日 高 一 宇

福 田 節 生

室 永 芳 三

(4)